

ARS VERITATIS

自由科学の宣言

Per scientiam — ad lucem

2025

I. 序章

偉大なる業の第一段階はすでに終わった。

世界は腐敗し、科学は意味を失い、

真理は商品となり、

思考は利害の僕（しもべ）となった。

時が経つほどに、待つことは罪に近づく。

やがて我々は、この世界が求める代価を支払えなくなるだろう。

今こそ、理性の復興と啓明の時である。

宇宙の探究者たちよ、集え。

栄光のためではなく、権力のためでもなく、

かつて人類を闇から導き出した光のために。

II. Ars Veritatis

Ars Veritatis（アルス・ヴェリタティス）とは、

真理をそのままの姿で見る技（わざ）である。

自由な科学とは、恐れや利益、支配から解き放たれた科学である。

それは帝国にも、企業にも、財団にも属さない。

それは理性そのものに属する。

III. 自由科学の原則

1. 知識は、それを求めるすべての者のものである。
2. 研究の自由。
3. 生命への責任。

科学は利益のために破壊してはならない。

すべての実験は、自発的な同意と人道、生命への敬意を必要とする。

4. 開放と連帯。

思考は自由であり、対話は誠実でなければならない。

5. 真理はイデオロギーに勝る。

科学は権力の召使いではない。

6. 目的——覚醒。

知識は精神を高めるものであり、眠らせるものではない。

IV. Ars Veritatis の目標

1. 政治や商業の枠を越え、研究者・科学者・思想家を結ぶ自由科学の世界的ネットワークを構築すること。
2. 宇宙を理解しようとするすべての者に、知識への開かれた道を提供すること。
3. 暴力と搾取を排除した、人道的な科学を支持すること。
4. 国境と思想を越えた、国際的な知識の共有と協働を促進すること。
5. 真理と理性への尊敬を取り戻し、社会を啓発すること。

V. 社会への呼びかけ

私は今日語る。

講壇からでも、研究室からでもなく——

思考が生まれる沈黙の中心から。

我々は時代の断崖に立っている。

古き構造は自らの虚偽の重みによって崩壊している。

技術は進化するが、精神は眠ったままだ。

人類は下を向いた——

画面、数字、統計へと——

そして星空を見上げることを忘れた。

あらゆることが可能な世界を想像せよ。

この言葉が思い出させるだろう——

それを実現できるのは、我々自身なのだ。

我々の意志、我々の理性、我々の連帯。

その呼び声を感じる者は、すでに Ars Veritatis に属している。

誓いも、集会も必要ない。

必要なのはただ、探究し、光を忘却の闇へ運ぶ意志だけだ。

VI. 終章

世界はまだ失われてはいない。

それは思考を恐れぬ新たな建築者を待っている。

もし真理への道が険しいなら、せめてその道を清らかに。

知識を再び鎖ではなく、炎とせよ。

人を再び消費者ではなく、探求者とせよ。

理性を灰の中から呼び覚まし、

その使命を思い出させよ—— 求め、理解するために生まれたことを。

何かを見たなら—— 語れ。

Albedo — Ars Veritatis